



きりんぐみだより

5歳児 きりん組 No.3

令和6年10月28日

田島わくわく保育園

担任 倉橋・五十嵐

園庭の桜の木の葉が赤や黄色に色づき、季節の移り変わりを感じさせてくれています。

先日の個人懇談会には、お忙しい中おいていただきありがとうございました。子ども達の春からの成長をお話しさせていただいたり、就学時健診の様子をお聞きしたりと有意義な時間となりました。保育園生活も残り半年になりましたが、子ども達の新たな一面や成長がまだまだ見れるだろうと楽しみにしています。今後も何かありましたら、いつでもお話しください。

運動会では心を一つにしてカッコいい姿を見せてくれたきりん組の子ども達。一つの大きな行事を成功させた自信が次への意欲へと繋がっているような姿が見られています。ドッジボールが好きなきりん組なので、布団敷きの前に1, 2回戦勝負するのですが、以前は自分が投げたくて味方同士でもボールを取り合ったり、ボールが当たると泣いて遊ぶのをやめたりしていました。最近は、ボールが取れるようになったり、味方に投げるのを譲ってあげたり、「まだ投げてないよね」とボールを渡したり、ボールが当たってもすぐに外野に行って「パス！」と声を出したりする姿が見られるようになってきました。負けると悔しくて泣いたり、不機嫌になったりする姿があり、話を聞くと、「いつも負けるから嫌だ。」「勝って喜んでいる友達を見ると悔しい。」と気持ちを伝えてくれました。クラス全体に、ドッジボールは色々な作戦があること、外野がボールを当てると内野に戻ってこれること、ボールを見ながら逃げると当たらないこと等ドッジボールのルールをもう一度話し、「チームで作戦を立ててみるといいかもしれないね。」と話しました。勝負の前には作戦を考える姿が見られるようになってきました。先日は、玉入れでも3回勝負をした後に作戦会議の時間を作り、再度勝負すると負けていたチームが勝つことがあり、チームで力を合わせることや自分の考えを相手に伝えることなどの大切さや楽しさを経験していているなど感じます。



こんなことをしているよ！



就学まで半年ほどになり、みんなが小学校へ行ってきたことで会話の中にも学校の話が多く聞かれるようになってきました。保育者の話を聞く時に姿勢を正したり、静かに保育者の方を見たりする姿が多くなり、小学校に行く意識が出てきたように感じます。お昼寝がなくなった午後は、みんなで活動に向けた話し合いをしたり、ひらがなや数字等のワークをしたり、お絵描き等をして過ごしています。2時頃からはゴロゴロタイムで、ゴザの上に横になり、身体を休めるようにしています。

また、帰りの準備等の身の回りのことも自分で考えて行動できるように、また、時計を意識できるような関わり等もしています。これからは少しずつ小学校に向けて気持ちを作ったり、生活リズム等が身についたりできるようにしていきたいと思っています。



作品展に向けて



子ども達と夏頃から“エルマーの冒険”という物語を読んできました。シリーズが3冊ある長いお話なのですが、興味を持って聞いていました。このお話に出てくる“りゅう”の家族がカラフルな模様をしていて、絵に描いたり、粘土で作ったり、折り紙でドラゴンを作ることに興味や関心が出てきたりしていたので、作品展では自分のりゅうを作ることになりました。どんなポーズにしようかどんな模様にしようかと楽しそうに考えている子ども達。3冊の絵本の裏表紙にある地図も「大きな紙に描いて壁に貼ったらお家の人が良く見えるんじゃないかな」と子ども達から提案がありました。主人公のエルマーはどうしようかと話し合いました。子ども達のわくわくが伝わってきます。そのわくわくが形にできるようにしていきたいと思っています。